

社会福祉法人愛誠会 セレン学園
児童発達支援評価表(保護者回答)

※ 配布数 38、回収 25、回収率 65.7%

※ 入園間もない方々は、わかる範囲での記入をお願いしました。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	無回答
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22			2	①園庭の保育園とのわりふりがどうなってるのかわからない。 ②(はいという回答に対し)学園自体が広く自由に動ける為	1
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	4		3	①これから職員数が増えてよりよい学園になると願ってます ②職員によっては注文がある ③自身の困り事は無いが求人募集をしている為、人が足りていないのでは…?	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 i になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	3		3	①たぶん大丈夫としか言えない ②バリアフリー化されていてよいと思います。また、使う部屋は電気をつけ、使わないときは消すという子どもがわかりやすい工夫もされていて良い	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23			2	①新しくきれいで、おもちゃの管理も良くされていると感じます ②たぶん大丈夫としか言えない③学園自体出来たばかりでとてもキレイだと思います	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	23	1		1	①本人の弱みをよくわかっていただき計画書がしっかり作成されていた	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	2		3	①日常生活動作や集団生活への適応能力が上がった	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1		3	①登園中の様子を見た事が無いためわからない	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	無回答
	8 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	13	4	1	7	①少し固定化されている気がする ②固定化といわれたら固定化のような、特性に合わせてゆっくりと言われたらゆっくりかと。 ③登園中の様子を見た事が無いためわからない	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	7		8	①どれぐらいあるのかわからないので教えて欲しいです ②保育園の子どもたちと交流があまりなくて残念です ③運動会ぐらいでほぼほぼ無いのかなと ④コロナが落ち着いたら、いろんな交流ができるといいですね！ ⑤もっと交流して欲しい ⑥登園中の様子を見た事が無いためわからない	
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24		1		①入園手続き時にきちんと説明を受けた	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23		1	1	①入園手続き時にきちんと説明を受けた	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング iv 等）が行われているか	8	7	7	3	①面談以外でそのようなプログラムは受けていないという認識です ②毎日の連絡帳に細やかなアドバイスがいただけるので心強い。 ③いつも丁寧に連絡帳記入されていて嬉しいのですが、トイレ中のためトイレに行った時間とタイミングなども記入していただけたらと思います ④面接時に少し ⑤面談時に教えてもらった	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	24	1			①連絡ノートいつもありがとうございます。丁寧にわかりやすいです。 ②毎日連絡ノートでその日のできごとや様子を報告いただいています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	無回答
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	3		1	①こちらの質問に優しく答えていただけるので心強いです。 ②面談がもっとあってもいい ③定期的な面談あり	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	6	6	5	①運動会だけでなく父母どちらも参加できる行事が欲しいです(平日だと父が参加できないので) ②一度保護者会みたいなのありましたが連携は見られません ③保護者同士の連携もぜひお願いしたい ④保護者同士の関わる機会が少ない ⑤参加した事が無い ⑥もう少し増やしてほしいです	1
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21			3	①以前、保育者に子どもが不適切な対応をされ園の方で話し合いを行った際に、今後の対策や原因など適切な対応をしてくれました。その後同じ問題なく過ごしています ②イスに座ってじっとしていられない悩みをクッション等の工夫で対応されたときは「すごい」と思いました。 ③相談した事が無い	1
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1			①いつも連絡帳ありがたいです ②連絡ノートを使った情報の提供	1
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	3	1		①インスタうれしいです!!もっと見たいです!! ②会報を使ってクラスの状況を発信している	1
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24				①必ず報告があるので安心してます ②しかし、仲良しの子どもの名前ぐらい教えて欲しい	1
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	1	3	2	①避難訓練実施等による緊急時対応実施されている	1

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	無回答
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1	1	1	①避難訓練のインスタ投稿うれしいです。 ②定期的にさせていただいてます	1
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1			①毎日本当に楽しく嬉しそうに通っています。 ②優しく、好きな先生がいるようです ③先生の名前やお友達の名前も覚えてきてニコニコしています ④もちろん嫌な時もある ⑤毎日楽しく通園しており、送迎バスにお気に入りのおもちゃを持ってきてくれるのはありがたい ⑥毎日ルンルンで行っています	1
	23	事業所の支援に満足しているか	24	1			①本当にプールに入りたいようです。(大満足です) ②いつもお忙しい中、連絡帳等丁寧に記入していただきありがとうございます。 ③近くに事業所が出来てありがたく思っているが、より良い事業所になるように願う。 ④先生一人一人が親身になってくれているので親としては安心でき感謝している ⑤子どもの成長に繋がってます	1

社会福祉法人愛誠会 セレン学園
事業所における自己評価結果

令和5年2月

※パートタイム職員はわかる範囲で回答してもらったため、無回答数が生じている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	19	2	各クラスは狭いが、時間帯ごとに遊戯室や園庭を使い、児の状態に応じて対応している。	制度上の面積は満たされているが、収納スペースがもっとあると活動しやすい。⇒棚の設置見積もり済。 肢体不自由児クラスの職員数+児童数からすると部屋が狭い。⇒遊戯室や3階を活用する。 心理・言語・作業療法・理学療法の部屋が不足している。⇒会議室や3階の部屋も活用する。	
	2	職員の配置数は適切である	7	14	職員数に偏りがある時は、余裕のある他クラスや専門職員が入り連携している。 職員の急な休み等には、専門職がクラスに入り対応している。	加配している。 有資格者の正職員を増やすことで安全確保をより一層強化したい。有資格者の正職員を増やしたい(複数人あり)。⇒介護報酬に限りがあり、それに見合った正職員数の配置であるが、パートから正職員への登用制度や無資格者が実務経験(勤務日数)を積んで児童指導員になる制度もあり活用されると良い。 パート職員のシフトが日によって人数の偏りがあるため、均等にできると良い(多数あり)。 職員の急な休みと計画有休が重なるとクラス運営の人数がぎりぎりなことがある。 行事日の職員数が増えると良い。 職員は休憩時にも仕事をすしかない。⇒16時までの開設のため、園児把握職員と休憩職員とを回さなければならず、休憩時間でも必要な仕事が生じやすいが、分担して軽減する。 肢体不自由児クラスの昼食介助・午睡付き添いや送迎時に職員数のフォローが必要。⇒専門職等が入り、	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
					協力すると共に、新年度は児童数が増えるため今後については担任を増やす。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	8	限られたスペースであるが、感覚特性に合わせて個別や少人数のスペースを作ったり、小さい子どものため、抱っこで落ち着いてもらったりしている。 指示の視覚化、短くわかりやすい肯定語での指示をしている。	廊下のパーテーション設置が遅れている。 肢体不自由児のために、廊下に手すりが欲しい。⇒検討する。 トイレに行く時に遊戯室を通らなければならない、目がそちらに向く。⇒遊戯室をトイレ後のご褒美として活用する。 カームダウンエリアが少ない。感覚特性に合わせた環境が整いにくい。 一部の園児にとっては落ち着かない環境になりやすい。⇒まず、今できる環境作りを具体的に施行する。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	19	2	パーテーションを使い、気持ちが悪くならないよう工夫したり、毎日消毒と掃除をして清潔にしている。 消毒の徹底、換気を行っている。	収納スペース、通路パーテーションについて、①③の通り。 遊戯室での遊具の活用が不十分。 ⇒活用していく。 ぴあぱーく妙典も活用する。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	15	5	クラス内で記録記入時等に担任同士で日々話をしたり、昼休憩時に他クラス担任とも共有したりしている。 職員会議の担当者会議および支援会議で具体的に検討している。	短時間勤務の職員は参画しにくい。 ⇒各クラス職員で聞き取っていく。 正職員と時短職員との意識・スキルに差がある。⇒勤務可能な時間は人それぞれであるため、時短でも長期間勤務することでスキルアップできるようにする。 業務改善目標・体制・進捗状況等の説明が不十分に感じる。⇒本年度の改善事項はこれから取り組む段階。それ以外については、上司からの報告をこまめに伝達する。	1
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16	2		本年度が初年度のため、これから実施。 連絡帳等を通して意向を把握し改善を図っている。	3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18	1		本年度が初回のため、これから実施。職員会議で改善内容を検討し、ホームページにて公開する。	2
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	5		定期的に福祉サービス等第三者評価を受け業務改善につなげる必要がある。⇒ 法人として、第三者評価を検討している。	5
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	17	2	毎月職場内研修を実施し(専門職等から)、非参加者にも資料配付と、具体的場面で声掛けにて共有している。毎月の職員会議の他、外部研修に参加し報告している。	外部研修の参加について、更に充実させる。 常勤職員は毎月研修の機会があるが、非常勤職員の育成には個人差が大きい。 正職員だけでなく非常勤職員が参加できる研修があると良い。⇒職員会議での職場内研修への参加は時間的に遅く難しいため、日中の Web 研修等検討する。	2
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	19	1	担任からの聞き取りによる学園のアセスメントと標準化されたアセスメントを併用	標準化されたアセスメントの所見を活かせるよう職員間に周知する。	1
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	17	3		心理職の採用と定着が整わず、実施が遅れた(複数人あり)。⇒今後は毎年1回、定期的に発達検査・知能検査を実施し、療育と、家庭での子育てのヒントに活かせるようにする。	1
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に	19	1		計画作成、具体的な支援内容について、今後も職員間に周知し、学んでいく。	1

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
	必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている					
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	6	職員が閲覧できるようにしており、確認しながら支援している。	児童発達支援計画はあるが、沿った支援を行うには職員数が更に必要。クラス職員で個別療育を行うには職員数に余裕が無い。⇒グループ療育・自由あそび中の個別対応等、できることを検討し実施する。心理職の職場定着により、個別療育の機会が増える予定。	1
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	19	1	担任・専門職と相談している。	クラス内と全体で意見し立案していく。	1
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	18	2	子どもに合わせて作成している。 随時見直しを行い実施している。	プログラム案を出しやすい環境作りをする。 児童個々の発達段階に合ったプログラムを提供できるように具体的に検討する。	1
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	17	4	個別活動で行ったことを集団活動へ活かすことを考えている。	個々の特性に配慮したクラス内支援計画作成が不十分⇒意見を集約しながら検討する。 個別活動が言語になりがちで、他の個別での関りが人員的にできないことが多い。⇒心理職が増えるため、個別やクラス内活動に活かしていく。	
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	19	2	朝2回(時間差)の打ち合わせを実施、非参加職員にはスタッフ連絡帳・送迎連絡帳を活用している。 子供一人に職員一人で担当した方が良い時など、役割分担している。	役割分担やその日の注意事項等を今後も皆で考え、共有できるようにする。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	19	1	夕方の打ち合わせを実施している。 ヒヤリハット発生時など、どうすれば起こらずに済んだかなど、職員間で話し合っている。	報告・情報共有を今後も実施する。	1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	21	0	担任・専門職で実施したこと、児童の様子を記録している。		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	19	0		引き続き取り組んでいく。	2
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	18	1		児童発達支援管理責任者・担任・専門職等の中から参加する	2
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	16	2	保育所等訪問支援を実施。園庭開放に職員が参加している。	今後も連携を図れるようにする	3
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	1	スマイルプランや引継ぎ書を作成している。 セレン保育園併用児について、職員が行き連携している。	今後も必要な情報共有を図っていく	3
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	1	スマイルプランを作成。および学校との情報交換を予定。	今後も必要な情報共有を図っていく	3
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や	13	4	見学を実施。 自立支援協議会児童部会の研修に参加。	今後も研修会への参加や見学で学び支援に活かす(これまでコロナ禍で見学を控えていた面がある)	4

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
	研修を受けている					
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	18	2	セレン保育園の園児と園庭等で交流がある。	公園での機会も設けていく。	1
	29 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加している	11	5	自立支援協議会こども部会に参加している。	今後も参加する。	5
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	20	0	連絡帳で行っている 支援計画更新時に面談を実施		1
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	7	11	個々の相談に助言・提案等行っている(複数あり)。	ペアレントトレーニング トレーナー資格を持つ職員が現在不在のため、検討中。	3
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	19	0			2
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	18	1		今後もわかりやすい説明を行い、保護者の意向を聞き取りながら作成する。	2
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	20	0			1
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	6		懇談会を本年度は1回実施(複数人あり)。交流する時間はあまり無かった。⇒今後はもう少し回数を増やしていく。 父母の会が無く保護者同士の交流	2

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
					の場は少ない。⇒父母の会については検討中	
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	20	0	解決フローチャートの活用、日々の事柄についても、職員間の報告をし、丁寧に対応している。 電話や面談を実施している。		1
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	20	0	学園だよりを発行している。 Instagramやホームページ施設だよりで学園の様子を報告している。 きずなネットを開始した。		4
	38 個人情報の取り扱いに十分注意している	20	1	資料等社外に持ち出すことの無いよう、読んだらシュレッターにかけている。 連絡帳や会話の中でも気を付けている。	職員で共通理解し取り組んでいく	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	21	0			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	15	3	内覧会を実施した。 園庭開放を実施。	本年度はコロナ禍で夏祭りが中止になった。⇒次年度は実施予定。 現在はコロナの関係で難しさがある。(複数人あり)⇒できる範囲で検討する。	3
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	20	1	嘔吐物処理等についても訓練している。 保護者への周知は徹底されている。 重要事項説明書別紙にて保護者に周知している	今後もマニュアルが日々の支援に活かされるよう研修や伝達する。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	21	0	毎月避難訓練を実施。		
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	21	1	確認し、児童の個別ファイルに記載、打合せ・会議・スタッフ連絡帳でも連絡している。	今後も契約時の確認に加えて、その都度確認、記録していく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	無回答
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	21	1		今後も契約時の確認書に加えて、その都度確認、記録していく	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	20	1	打合せ・会議で共有し、対策を検討している。	今後も毎日の打ち合わせと会議で共有し、対策を検討し、次に起こらないよう配慮する。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	21	0			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	19	0		現在身体拘束が必要な事例はない。今後、肢体不自由児の座位の安定での必要性が生じた場合等、提案・了承を得ていく。	2